

平成29年度行政評価シート【個表】

平成 29 年 6 月 16 日

評価対象事業		評価者	教育総務課担当課長 茂木 健太郎	
教育-12	実施事業	吉屋信子記念館管理運営事業 ☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務	主管課	教育総務課
			関連課	
総合計画上の位置付け	分野	生涯学習	施策の方針	学習環境の整備・充実

1 事業の目的

対象	市民等
意図	吉屋信子文学の業績をしのび、その文学を永久に保存し後世に伝えとともに、市民の文化教養の向上を図るため。
効果	生涯学習施設として市民等の学習の場として活用する。 吉屋信子の文学及び業績を広く市民に伝える。

2 平成28年度に実施した事業の概要

吉屋信子記念館の維持管理を行うとともに、一般公開業務や施設貸出業務などを実施した。

3 事業費等基礎データ

人口等のデータ	データ区分	27年度決算	28年度決算	データ区分	29年度当初予算	備 考
	人 口	177,243人	176,869人	人 口	176,466人	
運営資源状況	世 帯 数	80,676世帯	80,928世帯	世 帯 数	81,150世帯	・各年3月31日 (住民基本台帳)
	事業の対象者数	4,767人	4,719人	事業の対象者数	6,900人	
	決算値(千円)	2,281	2,237	当初予算(千円)	3,346	
	国県支出金			国県支出金		
	地方債			地方債		
事業経費運営	その他	270	216	その他	387	
	一般財源	2,011	2,021	一般財源	2,959	
	人員配置数	1.3	1.3	人員配置数	1.3	
	人件費(千円)	9,894	9,822	人件費(千円)	10,033	
	総事業費(千円)	12,175	12,059	総事業費(千円)	13,379	
	市民1人当りの経費(円)	69	68	市民1人当りの経費(円)	76	
	対象者1人当りの経費(円)	2,554	2,555	対象者1人当りの経費(円)	1,939	

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

効 率 性	事業費に削減余地はないか	2. ない
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない
妥 当 性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	3. 変わらずにある
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きいのか	3. 廃止・休止による影響は大きくある
有 効 性	事業の成果は得られているか	2. 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きいのか	3. 事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している
公 平 性	受益者負担は公正・公平か	○. 負担導入済 ○-1. 既に受益者負担を求めているが、今後、その額や対象等を再検討する必要がある
協 働	市民等と協働して事業を展開しているか	△. 協働未実施
		協働実施済の場合のパートナー
事業内容の方向性	☐ a: 事業内容を見直す ☒ b: 事業内容は現状通りとする ☐ c: 事業を休止又は廃止する ☐ d: 他事業と統合し、本事業は廃止する	見直しの種類 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ その他
		事業へ統合
予算規模の方向性	☒ A: 予算規模を拡大する ☐ B: 予算規模は現状維持とする ☐ C: 予算規模を縮小する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由 吉屋信子文学を広く市民に伝えるため、建物の各所修繕や庭園の管理を計画的に行っていく必要がある。一般公開にあたって、より多くの方に来館していただくため、事前の周知や吉屋文学、建物の歴史等の紹介を行っていく。 財源については、歴史的風致維持向上計画に基づき、国の補助金を活用する。
総評(評価に対する考え方、根拠等)	生涯学習施設として市民等の学習の場に活用し、吉屋信子の文学及び業績を広く市民に伝えるため、一般公開を継続し実施した。また、地元限定の公開を行った。 今後は、近隣住民の記念館に対する理解を深めるとともに、耐震診断や大規模修繕の実施及び当記念館の有効活用について引き続き検討を進めていく。	

